



新規採用者からの メッセージ

東北に配属になって

管理本部技術支援部東北技術支援センター
石井 大貴 (いしい ひろたか)



令和2年10月、東北技術支援センターに配属にされた石井大貴です。令和2年4月コロナ禍の中とても不安な入構でした。4月の入構式はなくなり入構後すぐに自宅待機を2週間ほど余儀なくされていました。その後も自宅待機をはさみながらも細やかなコロナ対策をとって、研修に臨んでいました。私自身、転勤は難しいのではないかなどと勝手に思っていま

したが、こうして配属されたことをとてもうれしく思います。

私は、宮城県で生まれ東北各地を回り育ちました。盛岡は幼いころに数年住んだこともあったり、中学生の時の研修旅行先でもあったりと何かと縁がありとても馴染み深く故郷のように思っています。私はこれまで半年ほどつくば地区で各業務科を回り様々な研修を受け、主に機械操作の経験を積んできました。また、山形の農林大学校に在学中は野菜に対する知識を深めてきました。特にトマトが好きなので、扱うことを楽しみにしています。これまで培ってきた知識や経験をもとに東北の農業に貢献できることは喜ばしい限りです。それでもまだ知識や経験は浅いのでこれからもっと前のめりに作業に取り組んでいきたいと思っています。

Topics

報告 農研機構東北農研市民講座を開催しました

農業及び農業研究への国民理解の促進を図るため、地域の皆様を対象とした「農研機構東北農研市民講座」を平成27年度から開催しています。

本講座では、研究者がおのおのの研究成果や専門分野のトピックス等をわかりやすく紹介しています。

今年度は、10月3日に「タマネギはいつどこでとれる? ~タマネギの作型と品種のはなし~」というテーマで、東北地域に産地を広げるために行っている栽培技術を紹

介しました。

続いて11月7日に「気候変動がイネ害虫のカメムシ類に与える影響」というテーマで、気候変動が昆虫に与える影響や斑点米カメムシについて解説し、気候変動とカメムシ類の分布について行った研究を紹介しました。

なお、市民講座の概要や当日の様子は、ウェブサイトに掲載していますので、ご覧ください。

(地域戦略部研究推進室)



▲10月3日 講演の様子



▲11月7日 講演の様子